

第 12 回リーガルオペレーションズ研究所 議事録

開催日時：

2026 年 4 月 9 日（木）17 時 00 分から 18 時 30 分まで

開催場所：

株式会社 LegalOn Technologies 本社 19 階 会議室

出席者：

研究員（敬称略、あいうえお順）

稲村、打田、根橋、間宮

事務局

大原、奥村、今野（記）

アジェンダ

- ・実務知見をもとにした外部発信企画の方向性、制作体制、進行計画について

サマリー

- ・ Core 8 のフレームワークを土台に、実務活用やベストプラクティスを整理して外部発信する方針で概ね一致した。
- ・ 対象とする業務シーンについては複数案が提示され、事務局で整理したうえで参加者の意見を踏まえて絞り込むことが確認された。
- ・ 今後は、アウトプットの骨子を早期に固め、準備・草案化・編集の順で段階的に進行する方向性が共有された。

議事の経過

1. 外部発信の方向性

- ・ Core 8 のフレームワークを土台に、法務機能の実務活用や運用上の示唆を、実務家にとって読みやすく再現性のある形で発信する方向性が確認された。
- ・ 内容は学術的な厳密さに偏りすぎず、現場の知見や試行錯誤を踏まえた実務志向のものとし、全体としては枠組みの意義を示したうえで、具体的論点に展開し、将来への示唆を補う構成案等が提示された。

2. 対象とする業務シーンと内容

- ・ 対象とする業務シーンとしては、組織運営、経営との連携、人と AI の役割分担、外部リソースの活用、人材育成、ナレッジ共有、リスク分担など、法務機能の高度化に関わる論点が幅広く提示された。
- ・ 内容面では、成功事例の紹介に偏るのではなく、課題や模索の過程も含めて、実務に応用可能な学びとして整理することが重視された。

- ・ 読者としては一定の実務経験を有する層を想定し、企業規模や組織段階の違いにも配慮しながら伝え方を工夫する方針が共有された。

3. 今後の進め方

- ・ 今後は、対象とする業務シーンの候補を事務局にて整理し、参加者からの意見を踏まえて優先順位や担当を具体化していくこととなった。
- ・ あわせて、全体構成、執筆体制、各テーマの扱い方を順次詰めていき、对外発信に向けた準備を段階的に進める方針が確認された。